

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【公表番号】特表2015-515201(P2015-515201A)

【公表日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-034

【出願番号】特願2015-502259(P2015-502259)

【国際特許分類】

H 04 N 19/40 (2014.01)

H 04 N 19/132 (2014.01)

H 04 N 19/162 (2014.01)

H 04 N 19/167 (2014.01)

H 04 N 19/174 (2014.01)

【F I】

H 04 N 19/40

H 04 N 19/132

H 04 N 19/162

H 04 N 19/167

H 04 N 19/174

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年5月30日(2016.5.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0056

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0056】

各ヒント付き符号化器230は、その動き適応モジュール220からのヒント、ならびに要求された解像度および位置での、未加工のクロッピングされたビデオストリームを受信する。ヒントは、圧縮性能で不利益を得ることなしに符号化器230の計算の複雑性を軽減するのに役立つ情報から構成される。H.264の場合、ヒントは、ダイレクト動きベクトル、モード判定(動き区分)、探索ウィンドウが中心を置くことになる予測動きベクトルならびにその探索ウィンドウのサイズ、イントラモード予測、スキップ判定などから構成され得る。これに関する例は、Ralph A. Braspenning、Gerard de Haan、「True-motion estimation using feature correspondences」、Visual Communications and Image Processing 2004、第5308巻、第1号(2004)、396-407頁に見られる。